

## 業績リスト（過去5年～10年）

### 平成28年 2016年度（2016年1/1～12/31）

#### 論文：

- 「東芝の債務超過回避と巨額子会社売却益－巧妙な買収スキームは何のため」『週刊経営財務』2016年6月6日号。
- 「資産除去債務と減価償却」『週刊経営財務』2016年8月8日号。
- 「大世界史のなかのIFRS－新自由主義とIFRS」『週刊経営財務』2016年10月17日号。
- 「OCI現象と現代会計」会計理論学会『会計理論学会年報』第30号。
- 「研究ノート：慣習、文化、言語、そして会計」『駒澤大学経済学論集』第48巻第1・2・3合併号。2016年12月。

#### 学会発表：

- 「資産除去債務と減価償却－何が矛盾か、その出所は－」会計理論学会第31回大会自由論題報告（長崎大学、2016年10月23日）。

#### その他：

- 「井尻雄士先生－異色の存在、その挑戦と足跡－」『企業会計』2017年1月号。

### 平成27年 2015年度（2015年1/1～12/31）

#### 著書：

- 『複式簿記のサイエンス（増補改訂版）』税務経理協会、2015年12月。

#### 論文：

- 「構造と歴史－会計史研究の一視点－」会計史学会年報第33号。
- 「純損益、包括利益、OCIの論点」『経営財務』2月2日号。
- 「経済世相と現代会計」『経営財務』6月29日号。
- 「アクルーアルと『利益の質』」『経営財務』8月31日。
- 「『事業活動の性質』と純損益／包括利益」『経営財務』10月19日号。
- 「『事業活動の性質』と資産分類／測定基礎」『経営財務』12月14日号。
- 「会計ビッグバンから『東京合意』へ」『企業会計』2016年1月号。

#### 学会発表：

- 「OCI現象と現代会計－その基礎にあるもの－」会計理論学会第30回大会統一論題報告（駒澤大学、2015年10月11日）。

### 平成26年 2014年度（2014年1/1～12/31）

#### 著書：

- 『揺れる現代会計－ハイブリッド構造とその矛盾』日本評論社、2014年8月。

#### 論文：

- 「会計研究のあり方－プロフェッションとアカデミズム－」『経理研究』第57号、2014年3月。
- 「情報開示、利益計算、包括利益－『その他の包括利益』の出所と現代会計」『会計理論学会年報』No. 28、2014年9月。

#### 学会発表：

- 「構造と歴史－会計史研究の一視点－」日本会計史学会第33回大会統一論題報告（立教大学、2014年10月25、26日）。

#### その他：

「研究ノート：株式会社会計論の新展開－小栗崇資著『株式会社会計の基本構造』の論点をめぐって」『経済学論集』第46巻第1号、2014年9月。

書評：藤井秀樹編著『国際財務報告の基礎概念』（中央経済社、2014年）『週刊経営財務』2014年3月17日号。

書評：小栗崇資著『株式会社会計の基本構造』（中央経済社、2014年）『経営財務』2014年6月9日号、『会計』2014年9月号。

### 平成25年 2013年度 (2013年1/1－12/31)

#### 論文：

「情報開示、利益計算、包括利益（Ⅰ）－貸借対照表の現代的変容－」『経済学論集』第45巻第1号、2013年9月。

「情報開示、利益計算、包括利益（Ⅱ）－『その他の包括利益』の出所と現代会計－」『経済学論集』第45巻第1号、2013年12月。

#### 学会発表：

「情報開示、利益計算、包括利益－『その他の包括利益』の出所と現代会計」会計理論学会第28回大会統一論題報告、東京経済大学、2013年10月13日。

#### その他：

会計理論学会特別委員会（小栗崇資委員長）「会計理論の課題と研究方法－津守常弘・田中章義両先生インタビュー－」『会計理論学会年報 No. 27 別冊』所収の「津守・田中両先生のインタビューに想うこと」2013年5月。

書評：藤田昌也著『会計理論のアポリア』（同文館）『週刊経営財務』2013年7月22日号。

### 平成24年 2012年度 (2012年1/1－12/31)

#### 著書：

『社会のなかの会計』（齋藤正章氏と共著）放送大学教育振興会、2012年3月。

#### 論文：

「複式簿記の相対化－より原理的なものへ－」『税経通信』2012年1月号。

「『金融・開示・取引法』優位の現代会計－経済・会計・法の総体的視点」『企業会計』第64巻第2号、2012年2月号。

「複式簿記の見方・考え方・教え方（上）－理論・歴史・教育の接合－」『経済学論集』第44巻第1号、2012年9月。

「複式簿記の見方・考え方・教え方（下）－理論・歴史・教育の接合－」『経済学論集』第44巻第2号、2012年12月。

#### その他：

連載「現代会計時評」：週刊経営財務

第14回「資本主義の多様性とIFRS」平成24年6月11日号（No. 3068）

第15回（最終回）「市場・企業・社会と会計」平成24年7月23日号、No. 3074）

「『計算のフレームワーク』と『情報のフレームワーク』－日本会計研究学会第71回大会によせて」、  
『週刊経営財務』2012年12月3日号。

書評：田中弘『IFRSはこうなる』（東洋経済新報社）『経済セミナー』2012年8・9月号。

#### **インタビュー：**

日本簿記学会特別研究課題（橋本武久主査）「現代簿記論に関する研究」所収、2012年9月（インタビューは2012年2月28日、於駒澤大学）。

### **平成23年 2011年度（2011, 1/1－12/31）**

#### **著書：**

『複式簿記のサイエンス－簿記とは何であり、何でありうるか』税務経理協会、2011年4月。

#### **論文：**

「社会科学としての時価会計」日本大学経済学部『経済集志』第81巻第3号（2011年10月）。

「資金計算書発展の論理構造」（安藤・古賀・田中責任編集『企業会計と法制度』中央経済社、第7章所収）。

#### **その他：**

「Shyam Sunder教授に聞く－ベターな会計とは何か－」『週刊経営財務』2011年4月18日号（No. 3012）。

### **平成22年 2010年度（2010, 1/1－12/31）**

#### **著書：**

『変わる会計、変わる日本経済－「情報会計」の時代』日本評論社、2010年4月。

#### **論文：**

「研究ノート：会計基準の整合性分析をめぐって」駒澤大学『経済学論集』第42巻第2号。

#### **その他：**

「会計と財務の交錯」『税経通信』巻頭言 2010年11月号。

連載「現代会計時評」：『週刊経営財務』

第13回「『金融・開示・取引法』優位の現代会計」平成22年7月19日号（No. 2975）

連載「複式簿記のサイエンスを求めて」：『税経通信』

第4回「キャッシュフローの簿記会計（1）」平成22年1月号。

第5回「キャッシュフローの簿記会計（2）」平成22年2月号。

第6回「損益計算とキャッシュフロー計算（1）」平成22年3月号。

第7回「損益計算とキャッシュフロー計算（2）」平成22年4月号。

第8回「損益計算とキャッシュフロー計算（3）」平成22年5月号。

第9回「複式簿記のサイエンス（1）」平成22年6月号。

第10回「複式簿記のサイエンス（2）」平成22年7月号。

第11回「複式簿記のサイエンス（3）」平成22年8月号。

第12回「歴史のなかの複式簿記」平成22年9月号。

第13回「3つの財務諸表の統合化へ」平成22年10月号。

第14回「全体論議の相対化（1）」平成22年11月号。

第15回（最終回）「全体論議の相対化（2）」平成22年12月号。

書評：今福愛志『企業統治の会計学』（中央経済社）『週刊経営財務』2010年3月15日号（No. 2958）。

書評：今福愛志『企業統治の会計学』、『会計』2010年5月号。

書評：白石伸一『ドキュメント 会計監査12ヶ月（Part 2）』（税務研究会出版局）『週刊経営財務』2010年6月21日号（No. 2971）。

### 平成21年 2009年度（2009, 1/1－12/31）

#### 論文：

「後入先出法はなぜ廃止か－ストック重視思考の一環として－」『企業会計』2009年1月号。

#### その他：

「金融危機と会計－会計の進化？－」『税経通信』巻頭言 2009年4月号。

#### 連載「現代会計時評」：週刊経営財務

第1回「『企業会計原則』が出てこないわけ」平成21年1月12日号（No. 2901）

第2回「銀行の信用収縮と時価会計見直し」平成21年2月23日号（No. 2907）

第3回「企業会計の国際化と法人税制のあり方」平成21年3月16日号（No. 2910）

第4回「『日本版ロードマップ』案の課題」平成21年4月20日号（No. 2915）

第5回「後入先出法が廃止されるわけ」平成21年5月25日号（No. 2919）

第6回「時価会計見直し論の再燃」平成21年6月22日号（No. 2923）

第7回「変わる財務諸表の様式」平成21年7月20日号（No. 2927）

第8回「『公正な会計慣行』が争われる」平成21年8月31日号（No. 2932）

第9回「負の『のれん』の正体と会計処理」平成21年9月14日号（No. 2934）

第10回「金融商品会計基準の改定案をどう見る」平成21年10月5日号（No. 2936）

第11回「現代会計の変容をどう見る」平成21年11月2日号（No. 2940）

第12回「会計・法科大学院の理念と現実」平成21年12月21日号（No. 2947）

#### 連載「複式簿記のサイエンスを求めて」：月刊税経通信

第1回「単式簿記とは何か」平成21年10月号。

第2回「複式簿記の内容と形式」平成21年11月号。

第3回「三式簿記への招待」平成21年12月号。

書評：米山正樹『会計基準の整合性分析』（中央経済社）『週刊経営財務』2009年8月24日号（No. 2931）。

### 平成20年 2008年度（2008, 1/1－12/31）

#### 著書：

『現代の会計』（共著）放送大学教育振興会、2008年3月。

『変貌する現代会計－その形と方向－』日本評論社、2008年7月。

#### その他：

連載「現代会計を読み解く⑩「トライアングル体制の変容（1）」『経済セミナー』08年1月号。  
連載「現代会計を読み解く⑪「トライアングル体制の変容（2）」『経済セミナー』08年2月号。

スペシャルインタビュー「『公正価値会計』とは」『週刊経営財務』11月10日号。  
「批評眼の大切さ―悪意なき欺瞞―」大東文化大学セミナー、3月。  
放送大学のTV「現代の会計（'08）」（第1回～第12回担当）4月～12月。  
「企業会計の変容をどう見る―投資家資本主義と会計―」大阪経済大学北浜キャンパス・パネルディスカッション、12月。

## 2007度（2007,1/1―12/31）平成19年

### 論文：

「資金計算書の歴史的展開と数学的展開―その照応関係の一視点―」『経済学論集』第38巻第4号（2007年3月）。

### その他：

連載「現代会計を読み解く①『企業会計原則』と今日」『経済セミナー』07年4月号。  
連載「現代会計を読み解く②「金融商品会計と『企業会計原則』」『経済セミナー』07年5月号。  
連載「現代会計を読み解く③「退職給付会計と『企業会計原則』」『経済セミナー』07年6月号。  
連載「現代会計を読み解く④「変容の全体的捉え方」『経済セミナー』07年7月号。  
連載「現代会計を読み解く⑤「資本維持と全体の見方」『経済セミナー』07年8月号。  
連載「現代会計を読み解く⑥「会計枠組みの今日的変容」『経済セミナー』07年9月号。  
連載「現代会計を読み解く⑦「変容の構図」『経済セミナー』07年10月号。  
連載「現代会計を読み解く⑧「新たな会計秩序を求めて（1）」『経済セミナー』07年11月号。  
連載「現代会計を読み解く⑨「新たな会計秩序を求めて（2）」『経済セミナー』07年12月号。

「会計学にミレニアム問題はあある？」『税経通信』巻頭言07年6月号。  
書評：稲葉威雄『会社法の基本を問う』『経済学論集』第38巻第4号（2007年3月）。  
書評：本庄資『米国マネーロンダリング』『週刊東洋経済』3/17号。  
書評：友岡賛『会計の時代だ』『週刊東洋経済』4/17号。  
書評：伊藤邦雄『ゼミナール企業価値評価』『週刊東洋経済』7/7号。

## 2006度（2006,1/1―12/31）平成18年

### 著書：

『変わる社会、変わる会計―激動の時代を読む―』日本評論社、2006年5月。

### 論文：

「日本版概念フレームワークの立脚点―4つの基礎論的視点から―」『経済学論集』第37巻第2・3・4合併号（2006年3月）。  
「日本版概念フレームワークの意義と論点」『会計理論学会年報No.20』、2006年9月。

### 学会発表：

「資金計算書の歴史的展開と数学的展開―その照応関係の一視点―」日本会計史学会第25回大会自由論大報告（駒澤大学、2006年10月15日）。

### その他：

「会計と物理と漢詩―井尻雄士先生古稀記念―」（共著）『駒澤大学経済学部研究紀要』第61号、2006年3月。  
「不正監査 会計士と企業の癒着断てるか」『朝日新聞』2006年3月7日。  
“Seeing auditing for the public service it really is”, The Asahi Shinbun, March 23.  
「著者 行間を語る」『日経金融新聞』10月24日。

- 書評：斎藤静樹編『詳解「討議資料 財務会計の概念フレームワーク」』『週刊東洋経済』7/22号。  
書評：磯山友幸『ブランド王国スイスの秘密』『週刊東洋経済』9/30号。  
書評：石橋博史『可視経営で内部統制』『週刊東洋経済』12/2号。  
書評：稲葉威雄『会社法の基本を問う』『週刊東洋経済』12/23号。

### 2005年度(2005,1/1-12/31) 平成17年

#### 著書：

『キャッシュ・フロー簿記会計論—構造と形態—(3訂版)』森山書店、2005年4月。

#### 論文：

「企業会計の今日の変容と全体整合性問題」『会計』第167巻第1号(2005年1月)。

「社会のなかの会計」『駒澤大学経済学部研究紀要』第60号(2005年3月)。

「討議資料『財務会計の概念フレームワーク』の苦心と本音」『企業会計』第57巻第7号(2005年7月)。

“A social science of contemporary value-based accounting: economic foundations of accounting for financial instruments”, *Critical Perspectives on Accounting* 16 (2005).

#### 学会発表：

「日本版概念フレームワークの意義と論点」会計理論学会第20回大会統一論題報告、明治大学(2005年10月22日)。

#### その他：

「書評：渡邊泉『損益計算の進化』」駒沢大学経済学会『経済学論集』第37巻第1号(2005年8月)。

### 2004年度(2004,1/1-12/31) 平成16年

#### 著書：

『経営情報と簿記システム—簿記の伝統と革新—(4訂版)』森山書店、2004年4月。

#### 論文：

「年金会計の計算構造と企業会計の今日の変容」『駒澤大学経済学部研究紀要』第59号、2004年3月。

「企業会計の今日の変容」『三田商学研究』第47巻第1号、2004年4月。

「企業会計の変容と企業会計原則の今日的課題」『会計』第166巻第3号・4号、2004年8月・9月

「現代企業会計の全体的あり方」駒沢大学経済学会『経済学論集』第36巻第1号、2004年8月。

「年金会計と業績報告のハイブリッド構造」会計理論学会年報No.18、2004年9月。

#### 学会発表：

「企業会計の今日の変容と全体整合性問題」日本会計研究学会第63回全国大会統一論題報告、中央大学、2004年9月9日。

#### 講演：

「会計研究のアンビバレンス—たかが会計、されど会計」慶應義塾大学、2004年1月14日

#### その他：

「書評：G. ウイットントン著・辻山栄子訳『会計測定の基礎』」『企業会計』第56巻第4号、2004年4月。

「時価会計導入は日本経済を弱体化させるか」『経済セミナー』2004年5月号。

「書評：辻山栄子訳『会計測定の基礎 インフレーション・アカウンティング』(中央経済社、2003年)」『早稲田商学』第400号、2004年9月。

### 2003年度(2003,1/1-12/31) 平成15年

#### 論文：



~~「企業会計のハイブリッド構造」『会計』第163巻第1号。~~

「資産化と利子配分」会計理論学会年報No.17, 2003年4月。

「手続校正、予測分離、そして複式簿記」『企業会計』第55巻第10号、2003年9月。

**学会発表：**

「年金会計と業績報告のハイブリッド構造—その異種併存性の検討—」会計理論学会第18回大会自由論大報告(立教大学)、2003年9月18日。

**その他：**

研究ノート「井尻講演『変遷75年の米国会計基準とその環境』の論点」駒澤大学経済学会『経済学論集』第35巻第2号、2003年9月。

「時価会計 政治圧力による凍結に反対」『朝日新聞』2003年5月21日。

「書評：木村剛『竹中プランのすべて』」駒澤大学経済学会『経済学論集』第35巻第1号、2003年6月。

**2002年度(2002,1/1-12/31) 平成14年**

**論文：**

「時価会計と資本利益計算の変容(上)」『経営研究』第53巻第2号、pp.25-50、2002年7月。

「時価会計と資本利益計算の変容(下)」『経営研究』第53巻第3号、pp.27-49、2002年11月。

「割引現在価値と会計配分」『経営研究』第53巻第3号、pp.51-75、2002年11月。

「時価会計と資本利益計算の変容」『会計理論学会年報No.16』2002年9月、pp.36-47。

「金融商品会計の理論的基礎」、『企業会計』第54巻第12号、2002年11月、pp.4-14。

「企業会計のハイブリッド構造」『会計』第163巻第1号、2002年12月、pp.1-15。

「利益の概念と情報価値 ディスカッション・IX a」(斎藤静樹編著『会計基準の基礎概念』中央経済社、2002年11月、pp.418-24。

“Balance Sheet and Change Sheet” (with Yuji Ijiri) *Osaka City University Business Review* No.13, pp.1-9.

**学会発表：**

「資産化と利子配分」会計理論学会第17回大会自由論大報告(鹿児島大学)、2002年10月5日。

**その他：**

「書評：笠井昭次著『会計の論理』」『経営研究』第52巻第4号、pp.197-203、2002年1月。

「書評：笠井昭次著『会計の論理』」『会計』2002年1月号。

「書評：米山正樹著『減損会計』」『経営研究』第53巻第2号、pp.185-92、2002年7月。

日本銀行金融研究所セミナー報告「企業会計のハイブリッド構造」、日本銀行、2002年10月31日。

以下、参考までに

**★ 2001年度(2000,1/1-12/31) 平成13年**

**論文：**

「減損会計と利益計算の構造」、『企業会計』第53巻第11号、2001年10月、pp.1524-34。

“A Recording System for Cash Flows Reporting: A Requirement for the Primary Financial Statement”  
*Osaka City University Business Review* No.12, pp.1-6.

「複式簿記システムについて」(共著)『経済研究』(琉球大学法文学部)第62号、2001年9月、pp.21-32。

**ワーキングペーパー：**

「時価会計と資本利益計算の変容」No.200105、2001年10月、pp.1-38。

**学会発表：**

「時価会計と資本利益計算の変容—計算と開示の側面から—」会計理論学会第16回大会(駒澤大学、2001

年10月6日。

**その他：**

日本会計研究学会特別委員会報告『会計基準の動向と基礎概念の研究』「IX 利益の概念と情報価値 デイスカッション」2001年9月、pp.202-209.

第3回大学院生 簿記・会計学研究報告大会、コメンテーター、慶應義塾大学、2001年9月5・6日。

**★2000年度(1999, 1/1-12/31) 平成12年**

**著書：**

『時価会計の基本問題—金融・証券経済の会計—』中央経済社、2000年3月、333頁。

**論文：**

「金融商品の時価評価の論拠づけを巡って(下)—その学説論的吟味—」、『経営研究』第50巻第4号、pp.1-33、2000年2月。

“‘Relevant’ Indirect Method for Cash Flow Statement: Its Pedagogical and Practical Advantages” (with Yuji Ijiri), *Osaka City University Business Review*, pp.1-6, No.11.

「企業金融資産評価と市価法」(共著)『財形研究』(The Study of Finance and Economics、上海财经大学)、第26巻第8期、2000年8月、pp.9-14.

**その他：** Presentation at Research Seminar Series, School of Accountancy Programme, Queensland University of Technology

“An Automatic conversion between income statement and cash flow statement: Excel 97 demonstration”, 25 August 2000.

“A Decomposition of the cost of uncertainty: understanding the relationship between quantity and value of information”, 1 September 2000.

**★1999年度(1999, 1/1-12/31) 平成11年**

**著書：**

『経営情報と簿記システム—簿記の伝統と革新—(3訂版)』森山書店、1999年10月、185頁。

**論文：**

「キャッシュフロー計算書の基本構造」、『税経セミナー臨時増刊』、pp.278-284、1999年1月。

「原価主義会計とは何だったのか—財務業績報告の多元化のなかで—」、『経営研究』第49巻第4号、pp.33-54、1999年2月。

“Fair Value Accounting and Income Determination”, *Osaka City University Business Review*, pp.1-9, No.10.

「金融商品の時価評価と財務諸表論—その位置と再構成可能性—」、『産業経理』第59巻第2号、pp.35-42、1999年7月。

「金融商品の時価評価の論拠づけを巡って(上)—その学説論的吟味—」、『経営研究』第50巻第1・2号、pp.79-103、1999年7月。



「笠井理論の学説論的意義—有価証券の時価評価と保有損益の論拠を巡って—」、『三田商学研究』第 42 巻第 4 号、pp. 161-67、1999 年 10 月。

「金融商品の時価評価の論拠づけを巡って(中)—その学説論的吟味—」、『経営研究』第 50 巻第 3 号、pp. 51-84、1999 年 11 月。

「時価会計の経済的基礎—金融・証券経済の会計問題—」、『企業会計』第 51 巻第 12 号、pp. 4-11、1999 年 11 月。

### ★1998 年度(1998, 1/1—12/31) 平成 10 年

#### 論文：

「キャッシュフロー計算の複式簿記—基本財務表の要件によせて—」、『会計』第 153 巻第 1 号、1998 年 1 月、pp. 27-36.

「金融商品に適用されうる資本維持概念について—その意義と問題点—」、『産業経理』第 57 巻第 4 号、1998 年 1 月、pp. 20-28.

「キャッシュフロー革命と複式簿記」、『日本簿記学会年報 No. 13』、1998 年 9 月、pp. 19-26.

「時価会計の基本問題—金融経済の会計学—」、『会計理論学会年報 No. 12』、1998 年 10 月、pp. 13-23.

#### その他：

「婁爾行と中国会計研究の歩み」(資料)、『経営研究』第 49 巻第 3 号、1998 年 11 月、pp. 95-116.

「時価会計導入の問題点」(講演会)、金融税制懇話会、1998 年 11 月 30 日

### ★1997 年度(1997, 1/1—12/31) 平成 9 年

#### 論文：

「時価会計と損益計算—包括利益計算書を中心にして—」、『経営研究』第 48 巻第 1 号、1997 年 5 月、pp. 33-58.

「時価会計と“第 2 の” 損益計算書構想—その意義と問題点—」、『J I C P A ジャーナル』No. 507、第 9 巻第 10 号、1997 年 9 月、pp. 48-52.

「利益の『リサイクル』とは何か—純利益とその他の包括利益の関係を中心にして—」、『経営研究』第 48 巻第 3 号、1997 年 11 月、pp. 1-19.

#### その他：

翻訳『会計学・財務論の研究手法』(共訳) 同文館、序章・第 3 章・終章、1995 年 3 月

#### 書評

①「岡部孝好著『会計報告の理論』」(書評)『J I C P A ジャーナル』第 7 巻第 3 号、1995 年 2 月

②「西村明/ロジャー・ウイレット/ナビール・バイドン編、西村明監訳『アジア太平洋地域の会計』」(書評)、『会計』第 149 巻第 2 号、1996 年 2 月

③「藤田昌也『会計利潤論』」(書評)、『企業会計』第 49 巻第 12 号、1997 年 9 月

#### ワーキング・ペーパー

“Stock-Flow Matrix vs. Input-Output Matrix”、大阪市立大商学部ワーキング・ペーパー No. 9606 (with

Yuji Ijiri)、1996年6月

“A Requirement of Cash Flows Statement for the Primary Financial Statement”、大阪市立大商学部ワーキング・ペーパーNo. 9707、1997年11月

“Fair Value Accounting and Income Determination”、大阪市立大商学部ワーキング・ペーパーNo. 9801、1998年3月